

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年10月17日（月）～平成28年10月23日（日）〔平成28年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・手足口病でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.56人と前週（4.92人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.00人と前週（1.67人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.97人と前週（1.33人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。手足口病の定点当たり患者報告数は1.97人と前週（2.03人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



～感染性胃腸炎の拡大を防ぐために～

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌等を原因とする感染症です。中でもノロウイルスを原因とする胃腸炎の患者数は、毎年11月～1月にピークをむかえます。ノロウイルスは感染力が強いため、汚物（おう吐物等）の取扱い・廃棄に注意し、適切な消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム希釈液）を用いて、拡大防止に努めましょう。

塩素系消毒液の作り方

（市販の漂白剤 塩素濃度5%の場合）

食器等の消毒や
ふき取り
（ドアノブ、
手すり、床等）



塩素系漂白剤
の原液

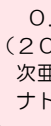
ふん便やおう吐物
など汚物廃棄時の
消毒
（袋の中で廃棄物
を浸す等）



1 L



原液
4m l
（キャップ1杯分）

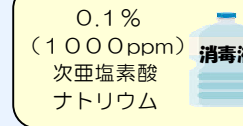


0.02%
（200ppm）
次亜塩素酸
ナトリウム

消毒液



原液
20m l
（キャップ5杯分）



0.1%
（1000ppm）
次亜塩素酸
ナトリウム

消毒液

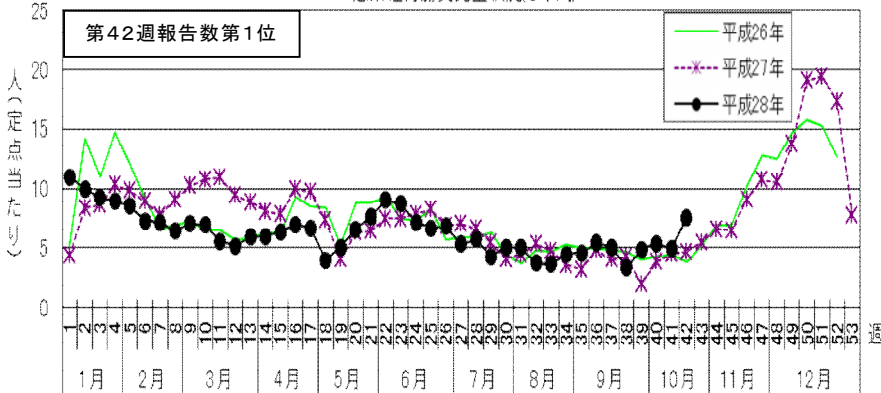
汚物（おう吐物等）を処理する際のポイント

- ◆ 使い捨てのマスク、手袋、エプロンを着用する。
- ◆ 汚物中のウイルスが飛び散らないよう、ペーパータオル等で静かにふき取り、塩素消毒後、水ぶきする。
- ◆ ふき取った汚物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄する。
- ◆ 汚物の処理時や処理後は、換気を行う。

塩素系消毒液を作る際の注意事項

- おう吐物等の酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用し、希釈液は早めに使い切りましょう。
- 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



流行性角結膜炎発生状況(3年間)

